

## 実践の紹介 授業Ⅰーみんなからの手紙ー

ここで紹介するのは、「人間関係をつくる力」を育てるための「自己肯定感」を高める指導例です。昨年は小学校高学年での実践をもとに「人とかかわる技能」について紹介しましたが、ここでは中学校での実践をもとにしています。

活動名：『みんなからの手紙』

ねらい：聞き取り活動や手紙を通して、友達のよさを知るとともに、自分への理解を深める。

期待する子供の意識：「友達は、どんなことを頑張っているんだろう。友達のよさを見付けて伝えてあげよう。」

※ 準備物：①「みんなからの手紙完成例」（後出資料1）、②「みんなからの聞き取り表」（後出資料2）、③「振り返りカード」（後出資料3）、④「（名前カード・手紙用紙が入った）封筒」（後出資料4・5）（①、②は掲示用の拡大版も用意する）

### 1 ウォーミングアップを行う

授業の始めには、取り組む前の緊張をやわらげたり、雰囲気盛り上げたりしてその後続く活動の意欲を喚起する活動を行います。

#### 〈例1〉「4つの窓」

◇ 4つの言葉の中から、自分にぴったりの言葉を選ぼう。

↓  
\* 選んだ言葉のところに移動する。



\* 選んだ理由を伝え合う。

↓  
◇ みんないろいろ感じていたけど、今日は友達のよかったところを見付けて、それを伝えてあげる活動をしましょう。

#### 〈例2〉「笑顔でご挨拶」

◇ 握手をしながら自分の名前と好きな食べ物を伝え合い、できるだけ多くの人と挨拶しよう。

↓  
\* 相手を見つけて挨拶を始める。



※ 握手に抵抗を示す生徒には、握手を省く。教師も一緒に行うとよい。

↓  
◇ みんな積極的に挨拶して、こころも身体もしっかりと今日の活動の準備ができました。それでは今日の活動に入っていきます。

ウォーミングアップでは、主活動へのつながりや関連を考え活動を設定することになりますが、まずは、生徒が抵抗を起こさずに交流できる活動を考えることが大切です。